

帯状疱疹後神経痛 (PHN)

患者様情報

来院されるまでの症状

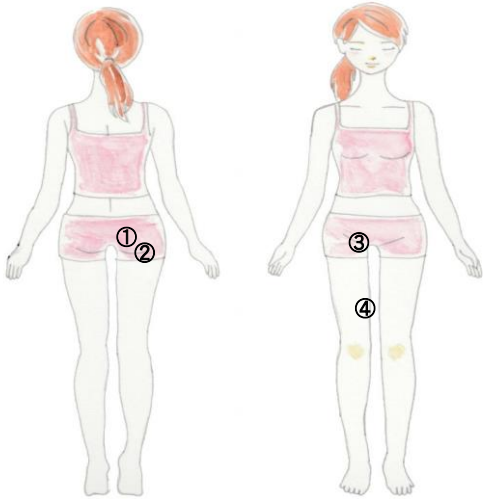
- ・2年前に右の股関節内側から太ももにかけて帯状疱疹を発症し、薬の服用で症状は治まったものの、その後神経痛が出てしまったそうです。
- ・右のお尻から太ももの内側にかけて強い痺れと痛みがあり、右の踵から足裏にも痺れと感覚の鈍さがあるということでした。
- ・お知り合いが顔面神経麻痺で当院を受診しており、症状が治まったと聞き、その患者様のご紹介で来院されました。

患 者 様	50 代 女性
初 診	2022 年 12 月
既 往 症	帯状疱疹、不整脈
他 の 症 状	首こり、肩こり、上部多汗症

四診と経過

■ 診療（診断と施術）

- ・右の腰やお尻、太ももの内側の皮膚がざらついており、色はくすんでいて少し冷えていました。
- ・右脚は全体的にむくみがあり、足首から先は特に冷えていて、循環不良による痺れや感覚鈍麻が考えられると思いました。
- ・血流改善と痛みや痺れの緩和を目的に、腰、臀部、股関節内側、太ももの内側に循環を促すように強めの鍼を施し、体表のざらついたところには補うような優しいお灸を据えました。



■ 初診後の経過

- ・施術後、下肢への循環が良くなり、むくみと冷えが改善されました。
- ・感覚の鈍かったところも感覚が戻っているとのことでした。
- ・その後も1週間から10日毎に通っていただき、徐々に痛みも痺れも軽減されてきたとのことでした。
- ・現在は、メンテナンスを兼ねて月に1～2回来院されています。

使用した主要なツボ

- ①会陽（えよう） ②承扶（しょうふ）
③陰廉（いんれん） ④陰包（いんぼう）

■ ひとこと添えさせていただきます

帯状疱疹は身体のどこにでも発症する可能性があります。
発疹が出てからなるべく早く（3日以内）に病院で適切な治療を受けることをお勧めします。
それと同時に、鍼灸治療と併用することで早期改善につながります。
神経痛に移行してしまった場合でも、あきらめずにぜひ一度ご相談ください。